

## 補助金チェックシート

(1)

①補助金名称		長岡京市友好交流協会補助金								課内No.	1
事務事業名		友好交流				担当所属名	秘書課				
②事業期間		始期	平成7	～	終期	継続					
③補助金の分類【選択】		③団体運営補助					④性質【選択】		①市単独		
⑤予算科目		会計	01	款	02	項	01	目	11	細目	645
⑥根拠法令・規程		長岡京市友好交流協会補助金交付要綱									
⑦必須業務の有無【選択】		無	内容		—						
⑧補助金開始前の状況 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		国際化が進む中、異なる文化や価値観を理解し、豊かな国際感覚などを身につけた人材の育成が求められています。									
⑨補助金開始後の変化 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		社会の国際化がより一層進む中、国際感覚豊かな人材育成が求められるとともに、より多くの市民が友好・姉妹都市を理解できる環境づくりが求められています。									
⑩補助金の目的		友好・姉妹都市との交流促進を図る団体活動を支援し、市民に異なる都市の文化や郷土を理解する機会を提供します。									
⑪補助金の内容	対象者・団体等	長岡京市友好交流協会									
	対象者・団体等が補助金で行う活動	友好・姉妹都市への訪問団派遣・受入事業のほか、語学講座、講演会、中国料理教室などの友好交流に関する事業									
⑫補助金の成果 (誰にどのような成果があるか)		協会会員をはじめとする市民、友好・姉妹都市の人々が、友好・姉妹都市との相互理解と友好親善を図るとともに、豊かで国際感覚を身につけた人材育成となります。									
金額(円)／年度		22年度決算		23年度決算		24年度予算					
⑬財源内訳	国庫補助金	0		0		0					
	府補助金	0		0		0					
	その他補助金	0		0		0					
	一般財源	800,000		800,000		750,000					
	合計	800,000		800,000		750,000					
	前年度比(今年度－前年度)	—		0		-50,000					
業⑭の団 財体 務又 内は 容事	(団体運営補助の場合)団体の決算・予算 (事業補助の場合)事業の決算・予算	4,042,862		4,141,022		5,110,000					
	繰越金	1,194,283		847,963		0					
	市の補助金の割合	19.8 %		19.3 %		14.7 %					

補助金チェックシート

(2)

補助金名称(再掲)		長岡京市友好交流協会補助金		担当所属名(再掲)	秘書課	課内No.	1
視点	チェック・記述欄						
⑮ 必要性	市民ニーズや社会情勢の対応として、補助金目的が補助金の開始時点と比べて希薄化していない	はい					
	市において目的が類似した補助金がない	はい	-				
	補助金で行われる活動に対して、市が関与する必要がある	はい					
	市が補助金支出という手段で対象者・団体等に関与する妥当性がある	はい					
	法令、計画、通達などにより市の補助金の支出が定められている	いいえ	-				
	市民の必要最低限度の生活の維持に関して、必要不可欠な補助金である	いいえ					
	市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響がある	はい	協会活動が縮小され、友好・姉妹都市との相互理解や友好親善活動の進行が停滞する。				
⑯ 優先性	補助金の目的・内容・実施時期に緊急性が認められる	いいえ	-				
	補助金の支出により第3次総合計画第3期基本計画の重点テーマのいずれかを具体化させることができる	はい	文化に親しみ、教養を深める機会を創出する「文化力」の向上				
	補助金の支出により自治体間でのサービス内容に差がつけられたり、地域の魅力が増すことができる。	はい	多様な文化に接する機会をより広く深く提供できる。				
	施策として遅れており、弱点を補完する補助金である	いいえ					
	住民の参画または主体的な活動を促進する目的がある	はい					
	市民ニーズや社会情勢の多様化に対応するため、補助金の対象や内容について見直しを行っている	はい					
⑰ 公正 公平 性	わかりやすい情報発信を行っている	はい	-				
	補助金対象団体の会計担当者の押印ある決算報告書並びに第三者の会計監査を受けた書類等の作成、提出がなされている(※個人補助はチェックしなくてよい)	はい					
	公募制度を導入している	いいえ					
	補助事業者や団体において、適切な受益者負担を徴収している	はい					
	多くの住民、広い地域に還元する活動や事業である(※人口でおおよそ10%、地域で小学校校区程度)	はい					
⑱ 効率 性	過去3年以内に補助金の内容・補助額等を見直した	はい					
	事業または団体に対する補助割合が半分以下であり、零細補助でない(※零細補助とは、5万円以下の補助)	はい					
	具体的に説明できる費用対効果がある	はい					
	補助金としての期限、終期を設定している	いいえ					
⑲近隣市町の状況【選択】	本市のみ実施	他市町の事例	-				
⑳23年度の取り組み(昨年度)	長岡京市友好交流協会に対して800,000円を支出						
21)24年度の取り組み(今年度)	長岡京市友好交流協会に対して750,000円を支出						
22)25年度の取り組み(来年度)	長岡京市友好交流協会に対して750,000円を支出予定						
23)今後の方向性【選択】	現状維持	今後の取り組み	協会は施策目的実現のため、市内の市民団体として中心的役割を果たしているが、収益事業を実施していないため補助金がなければ団体運営が困難な状況である。現在の協会運営状況から補助金交付は継続する必要があると考える。				
24)その他特記事項(留意事項など)	-						